

How to 施設管理 No.9

庭いじりが忙しくなるこの頃、あらゆる場面でハチと遭遇することがあります。よく遭遇するアシナガバチも、大きさに驚いて、よく見るとスズメバチであたりすることもあります。

ハチが急に現れると驚きが先立ち、手で払いのけようとしてしまいます。この行為が一番危険らしく、ハチは威嚇されたと勘違いし、攻撃に出てきます。ハチが通過するまで何もせずじっと耐えた方が安全です。

ハチと言っても、私たちが日常出会うのは、アシナガバチ、スズメバチです。

アシナガバチは、7月～8月に活動が活発になり、蚊・害虫等を食べてくれるので人と共存が出来ると言われていますが、日常的に人が生活をするスペースに巣があたりするため、撤去が優先となると思います。

また、スズメバチの被害は8月～10月が多く、他のスズメバチの巣を攻撃し、幼虫等を餌とする季節になるので攻撃的になるようです。



学校の造園管理

- ・学校外周の生垣(シラカシ)は、通年に渡り、反対側の景色がみえるくらい強く剪定をしています。ハチを意識し、ハチが巣をつくらない、また、作っていたら撤去を基本に管理しています。
- ・その他の低木、キンシバイ、アベリアもハチの巣を意識し絶えず剪定をし、巣が出来ないように管理をしています。
- ・スズメバチ(クロスズメバチ)等が、土の中に巣を作る場合があるので、植え込み、空き地等は、校庭含めて管理をしています。
- ・その他、私たちがよく出会うコガタスズメバチ、キイロスズメバチは、知らぬ間に軒下に巣を作るので巡回を強化しています。

